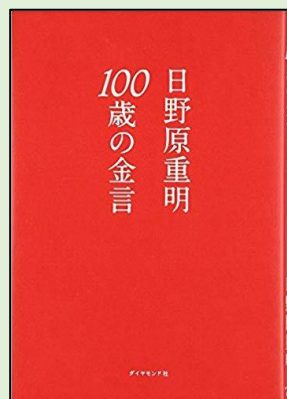
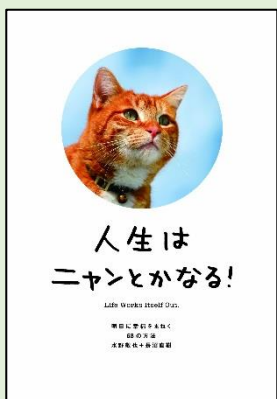


～おすすめ本の紹介～

名言

あなたの座右の銘は？そう聞かれたらなんと答えますか？さっと偉人の言葉を答えることができれば、カッコいいですね。あなたは、どの名言に共感しますか？あなたの人生を変えてくれるかも知れない本をどうぞ。



人生はニャンとかなる！

水野 敬也／著、長沼 直樹／著 文響社 159. 2/7/13

偉人の名言をほっこりする猫の写真を使って紹介しています。写真を見て癒されるだけでもOK！名言というとなつきにくく思いますが、手に取りやすいです。犬版の「人生はワンチャンス！（159. 2/7/13）」もオススメです。

100歳の金言

日野原 重明／著 ダイヤモンド社 159/7/12

2017年に105歳で死去されたお医者様の名言です。100歳を超えても現役の医師として活動されていたので、ご存知の方も多いのでは。ご自身の経験をふまえ、病気や死の事を語っておられるので説得力があります。最後に私が心を打たれた一言をどうぞ。

『幸福とは、生きていることに感謝する気持ちから生まれるものです』

ディズニー・プリンセス・レッスン

PHP研究所／編 PHP研究所 159. 6/テ/13

プリンセスに名言なんかある？そう思わずに、ぜひ読んでください。「シンデレラ」や「白雪姫」などなじみ深い物語です。名言の他に、キャラクター紹介やプリンセスのファッションが紹介されています。本を読んでいるうちに、ディズニー映画を見直したくなること間違いなしです。

こどもの読書週間イベント 5.1～5.6



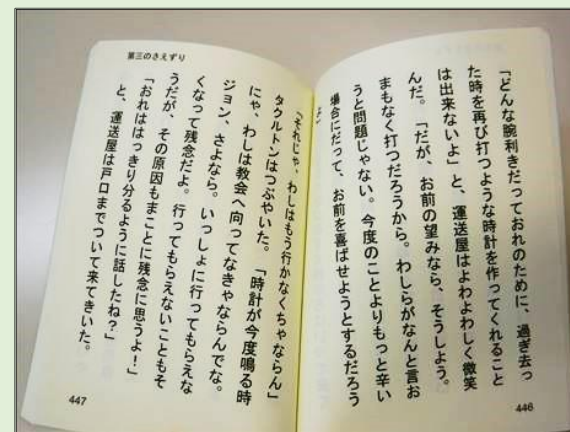
遊びに来てね♪ 中身は借りてからの楽しみ♪

本の福袋 5.1～5.12



4月23日から5月12日までは「こどもの読書週間」です。小さいときから本を読む楽しさを知っていることは、子どもが大きくなるためにとても大切なことです。図書館では、「こどもの読書週間」に合わせてブラックパネルシアターや読み聞かせ、腹話術や図書館探検など、こどもが楽しめるイベントを行います。ぜひ、ご家族でお楽しみください。

ご存知ですか？ 文字が大きく読みやすい！



だいかつじほん 大活字本

文字が大きく、行間が広いので、小さい字が読みづらい方におすすめします。大活字本コーナーは図書館3階にあります。誰でも借りることができます。ぜひ一度ご覧ください。



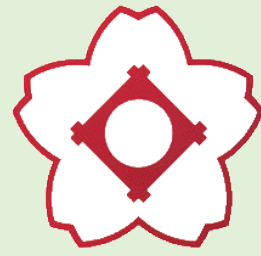
- 図書館では静かにしましょう
- 返却日を守りましょう
- 本はやさしく扱きましょう
- 落書きや切り取りをしないで！

春日井市図書館
〒486-0844 春日井市鳥居松町5丁目44番地
電話：(0568) 85-6800
開館時間：午前9時～午後8時
休館日：月曜日(休日の場合はその直後の休日でない日)

桜～さくら～

桜は春を代表する花です。古くから日本人に愛でられてきた花でもあります。卒業や入学など、日本人の誰もの記憶の中に、その美しい開花風景は残っているものですが、桜について詳しく知っている人はあまりいないのではないのでしょうか？

図書館には桜を題材にした資料を多く所蔵しています。みんなに愛される桜について、興味を持たれた方におすすめの本の紹介です。



春日井市の花は「桜」です。市章の外枠は桜の花びらを表しています。

春日井市図書館は、1947年に春見町に創設され、数回移転の後、1999年11月11日に現在の場所にオープンしてから、今年で20周年を迎えます。そんな節目の年に、同じく〇〇周年を迎えるものをご紹介します。



2019年は 〇〇周年



桜の樹木学

近田 文弘/著 技術評論社 479.7/サ/16

日本にあるサクラの種類は400種類以上ともいわれ、その数は世界一だそうです。樹木学とは樹木が種子から芽生え、どのように成長し、どのような死を迎えるのかを研究する学問です。姿形や生態、樹木の生き様を理解し、人との関わりについて考え、樹木学的視点で詳しく述べられています。品種はもちろん、植物学的な解説も多く、サクラのすべてが理解できる一冊です。

桜守のはなし

佐野 藤右衛門/作 講談社 62/サ/12

「桜は守り、そだて、継いでやらな、絶えてしまう木なんです。」一年を通して、桜守の仕事、また、桜の魅力について、京都の植藤造園の十六代目、佐野藤右衛門さんは語ります。桜守にとっては春の桜の花が散ってからが一年のはじまり。夏は暑く、冬は寒い。そんな四季を感じることで、成長していく桜は人と同じ、家族のように見守ることが大切で、春だけではなく、一年を通して桜を見守ることで、私たちも、もっと桜を知り、愛しく思えるようになる一冊です。

美味しい桜

平出 眞/編著 旭屋出版 596.3/オ/15

食べる桜、見る桜、知る桜、そんな桜のすべてについて、もっと知りたいという方におすすめの本です。桜の花や葉を“食べる”のは日本人ならではの行為でしたが、今、食べる桜は世界にも広がっています。全国各地の桜スイーツ、料理、お酒はもちろん、桜の名所や名桜めぐりについて、また、桜の歴史や知識など、食以外についても知ることができる一冊です。

ユーロ導入20周年

知識ゼロからのユーロ入門

小島 健/著 幻冬舎 338.9/チ/16

トップバッターは、図書館と同じ年、ユーロです。ユーロは、欧州連合（EU）加盟国のうち、19カ国で3億人以上に使用されている共通通貨です。各国共通デザインの7種類の紙幣と、片面のデザインが国ごとに異なる8種類の硬貨があります。ユーロ危機とは何か、イギリスのEU離脱で何が起るのか、などのテーマについて、経済に詳しくない人・苦手な人でもわかりやすいように解説されています。

カルピス発売100周年

カルピスをつくった男 三島海雲

山川 徹/著 小学館 289.1/カ/18

大阪府でお寺の長男として誕生した男が、中国大陸に渡り、モンゴルの遊牧民に振る舞われた乳製品に心を躍らせ、カルピスは誕生しました。何に会い、どのように日本初の乳酸菌飲料は生まれたのか、彼の人生を覗いてみませんか？

キューピー創業100周年

キューピーのマヨネーズレシピ

キューピー株式会社/監修 主婦と生活社 596/キ/12

キューピーは、創業から6年後の1925年に日本初の国産マヨネーズの製造を始めました。サラダだけではなく、様々な料理に活用でき、主役にも脇役にもなれるマヨネーズ。定番メニューから裏技まで、幅広いレシピが登場します。こんなものにもマヨネーズ？といった意外なものも。また、マヨネーズの雑学など、コラムも楽しめます。